

臨床データ利用についてのお願い

当院では下記の研究を行っております。

課題名：麻酔科医が中心となり構築したフィブリノゲン製剤使用体制

<目的及び概要>

危機的出血ではフィブリノゲン、という止血作用を持つ凝固因子が減り、止血に必要な濃度（150mg/dL）を下回ると止血が全く出来なくなります。出血の制御が出来ないと、出血死に至る危険が高まります。

フィブリノゲンの補充は従来、新鮮凍結血漿の輸血で行っていましたが、含有濃度が薄く、溶解に時間を要することなどから止血には不十分でした。昨今、フィブリノゲン製剤が販売され、産科大出血では保険適応となりました。今回、その効果を調査する。

<研究方法>

2023年1月から2025年11月までの間に高度凝固障害が対してフィブリノゲン製剤の投与を行った患者の手術記録及び診療録からデータを取得する。主要調査項目は使用理由（産科・非産科）、原疾患、フィブリノゲン製剤使用前の最低フィブリノゲン値、フィブリノゲン使用量とした。

<研究成果発表>

学会等や誌上での報告を行います。個人名や個人情報公表されることはありません。

<研究者>

麻酔科：古賀 聡人 他

<問い合わせ先>

本研究に関するお問い合わせや診療情報の利用を望まれない方は、下記までご連絡ください。

兵庫県立西宮病院 医事企画課

電話：0798-34-5151（代表）

令和 7 年 11 月 27 日倫理委員会承認（迅速審査）（受付番号 R7-47）